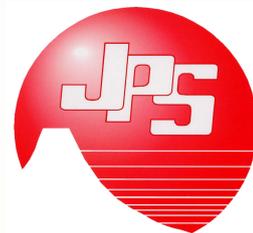


第21回ペプチドフォーラム



『ペプチドと創薬 —ペプチド科学と創薬の新しい接点と可能性を探る—』

日時：2015年8月29日（土） 受付開始：12:00～

会場：東京薬科大学千代田サテライトキャンパス（JR 飯田橋駅西口徒歩5分）
〒102-8798 東京都千代田区富士見2-14-23 東京通信病院管理棟5F

主催：日本ペプチド学会 共催：日本薬学会、日本化学会

オーガナイザー：林 良雄（東京薬科大学）、玉村啓和（東京医科歯科大学）

ペプチドは、生体機能分子の中で医薬品と最も密接に関係している分子の一つです。ペプチドホルモンやその誘導体を医薬品として利用したり、タンパク質の部分構造から切り出されたペプチド配列を基にプロテアーゼ阻害剤や蛋白質-蛋白質相互作用 (PPI) を制御する医薬品が開発されたりしています。また、最近では比較的分子量の大きなペプチドを利用した医薬品開発が「中分子創薬」というカテゴリーに組み入れられています。本フォーラムでは、このようなペプチドの創薬的側面に焦点をあて、6名の先生方に話題を提供いただきます。



プログラム

13:00～13:10	開会の挨拶	林 良雄（東京薬科大学）
13:10～13:40	ペプチドを基盤とした中分子創薬研究 — 抗 HIV 剤の創製	玉村啓和（東京医科歯科大学）
13:40～14:10	キラル化合物の有効活用を目指した医薬品探索技術の開発	大石真也（京都大学）
14:10～14:25	～休憩～	
14:25～14:55	生体由来ペプチドを基にした創薬基盤研究 — NMUR アゴニストの創製	高山健太郎（東京薬科大学）
14:55～15:25	性ホルモン依存性疾患治療薬を指向したペプチド性 KISS1R 作動薬 TAK-683 の創製	西澤直城（武田薬品工業株式会社）
15:25～15:40	～休憩～	
15:40～16:10	ゆらぎの制御による高性能な分子標的ペプチド医薬の創出	門之園哲哉（東京工業大学）
16:10～16:40	革新的バイオ医薬品創製に向けたフェージライブラリによる機能性抗体・ペプチドのデザイン	伊東祐二（鹿児島大学）
16:40～16:50	閉会の挨拶	玉村啓和（東京医科歯科大学）

参加登録：参加をご希望の方は8月24日（月）までに、事務局宛にメールにてご登録ください。

参加費無料

【事務局】

〒192-0392 東京都八王子市堀之内1-4-3 2-1 東京薬科大学薬学部薬品化学教室
Tel: 042-676-3275 E-mail: pep-f21-ml@toyaku.ac.jp